

法親寺新聞

2018年 秋彼岸号
手書き新聞 No. 34



こんにちは。釋 紗音です。

この夏は、初めての九州旅行に行ってきました。
ずっと行きたかった別府温泉で地獄巡りをして、熱々の
源泉が沸き上がっているのを見ながら、地獄には堕ちたく
ないなあ...と考えてしまいました。

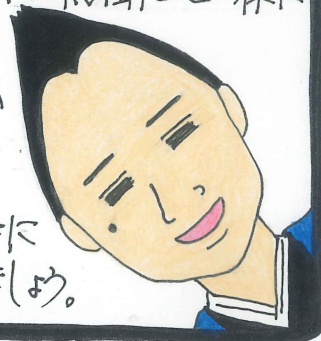
『悪いことをしたら、地獄に堕ちるぞ』と良く聞きますが、
私たち人間は、地獄行きの行いをしているのに、地獄に
堕ちるほど悪いことはしていないだろうと、自分のルールで判断して生きています。
そんな私でも、命が終えると阿弥陀様の極楽浄土へ参らせていただくのですから、
本当に豆粒が下がります。

極楽浄土は西の方角にあると『仏説阿弥陀經』に説かれています。
昔の人は、太陽が西に沈む様子を見て、阿弥陀様の浄土を思い手を合わせた
ことから、太陽が真東から真西に沈む日をお彼岸の中日とし、ご先祖様を偲んだ
のがお彼岸の始まりです。
いつかは参らせていただく浄土を思い、手を合わせ、お彼岸を過ごさせていただきましよう。

住職の法話

「浄土真宗の行は聴聞にあり」と浄土真宗は聴聞が大事であることをいつも申し上げ
ていますが、聴聞の「聴」には往くの意味があり、「聞」には来るの意味
があります。お寺へ仏法を聴きに往くことで仏様のお心が届いてくる
ことを期待する。となると、聴聞は仏様のお心をおいただくための自力の行
となってしまいます。親鸞聖人は一念の念言正で「自力といふはわが身を
たのみ、わがこころをたのみ、わが力をたのみ、わがさまの善根をたのみ
ひとなり。」と述べられています。では、浄土真宗のご法義は聴聞をどの様に
とらえているのでしょうか。聴聞することにより、私の
本質が明らかになり、私は罪深い存在であったと
気づかされ、私が救われていくには阿弥陀様の救い
によるしかないことが知られます。

聞こえて来るものを求め聴きに往くのではなく、
聞こえてみれば既に私は阿弥陀様の救いの中に
あったことに気づかされます。聴聞し、お念仏いたしましめ。



2018年7月8日(日)
お盆法座



住職を導師に参詣者
全員で「仏説阿弥陀經」
をお勤めし、引き続いて
本願寺派布教使の山口県
周南市直行寺住職
佐々木大乗師のご法話
を聴聞させていただきました。
とても分かりやすいお話を
していただき、ご門徒さんも
喜んでおられました。



こちらは地獄巡りの
海地獄です。
とてもキレイですが...
やはり地獄は行き
たくないですね...

2018年8月18日(土)
平成三十年七月豪雨災害追悼法要



お勤めの様子



住職の法話

平成三十年七月に発生した豪雨災害
により、亡くなられた方々の追悼と被災
された皆様の復興を念願し、法親寺
門信徒の皆様と共に追悼法要を勤
修しました。

この法要にあたり皆様からお預かり
をしたお布施は、全て義援金として
本願寺と備後教区教務所の募金
窓口へ送らせていただきました。

総額 25万円 ご協力ありがとうございました！

コレが
オススメ!!



このお店は、岡山地
区ご門徒の富田さんが
教えていただきました♡
ありがとうございます♡
またたびは猫にとって
お酒のようなものらしいで
す。ちなみにキウイも
またたび科だそうで
ビックリです。冬には
限定のぜんざいおいしく
いただける...



↑入口は神社の前にあります
目の前は瀬戸内海



またたびシロップも多
く
とっても美味しいです

食欲の夏の次は食欲の秋ですね(´▽`)
今回ご紹介するのは、兵庫県赤穂にあり
ます『さんぽう 穀 ワリー』さんです!

私がいただいたのは、食べる温泉といわれる
またたびのかき氷です♡「夏梅」や「木天蓼」に
様々な呼び名があり、昔から疲労回復に
良いとされています。キウイがトッピングされて
いて、シロップの味はレモンみたくてした
かき氷は夏限定ですが、さんぽうオリジナルの
滋養コーヒー・穀粉はいつでもいただけます。
お店の前は綺麗な海♡香ばしい穀粉の香り
に癒されます♡ 営業時間 8:30~17:00
定休日 日・水・曜
①兵庫県赤穂市御崎2-1 伊和郡比売神社前
0791-42-5155

お知らせ

お待ち
します!!
釋里蓮



秋季永代経法座

- 日時●平成30年10月20日(土) 午後1時~
- 場所●法親寺本堂 ※お車で越しの際は、隣接駐車場
●講師●住職 臨時駐車場をご利用ください。